

福島教区報

教会数 98ヶ所
布教所数 87ヶ所
(R185.8月現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

結隊式で挨拶する社会福祉協議会
事務局長・篠原氏



出動前に世界の平和と人々の幸せ、被災者の復興を願い、よろづよ八首を奉唱



災害救援ひのきしん隊出動

いわき市豪雨水害

9月8日夜、台風13号の影響でいわき市南部に線状降水帯が発生し、大雨となりました。いわき市と南相馬市で床上浸水1千273棟、床下浸水534棟の被害が確認（9月26日県発表）され、教内ではいわき

市内の教会1ヶ所が床下浸水の被害を受けました。これらの被害をふまえ、10日にはいわき市の北部と南部の2ヶ所に「災害ボランティアセンター」が開設されました。福島教区（平澤勇一教区長）

では、被害の大きかったいわき市の社会福祉協議会と相談の上、災害救援ひのきしん隊（荒井弘徳隊長）の出動を決定。12日から20日まで磐城平大教会を宿营地として救援活動に出ることになりました。

12日10時、磐城平大教会に集まった隊員は結隊式に臨み、いわき市社会福祉協議会事務局長の篠原洋貴氏より感謝の言葉をいただき、勇んで出動しました。

災救援は、社協の指示の下、主に特に被害の大きかった内郷地区へ出動。水に浸かった家具や畳の搬出、床下や庭の泥出し、屋内の洗浄などの作業を、お互いに声を掛け、力を合わせながら行いました。また、勿来地区の「天理教さんにはお願いできない」現場にも出動し、大量の泥出しを行ったりもしました。9月



10月出動予定

- ・ 11日(水)～13日(金)
- ・ 17日(火)～19日(木)
- ・ 30日(月)～31日(火)

※支部単位で日帰りで出動
 (各支部3名以上で3日前までに申込)
 (人数が少ない場合は
 直接ボランティアセンターへ)

※作業物品(スコップなど)、マスク、ゴム
 手袋は磐城平大教会に置いてあります。

※教区隊幹部が世話取ります。

なお、9日間
 で延べ168名の隊
 員が15件(延べ
 30件)の現場に
 出動、また、磐
 城平大教会やい
 わき支部の婦人
 会を中心に、延
 べ87名が受入れ
 のひのきしんに
 励みしました。
 (H・A)

に入っても連日暑い日が続き、こまめに休憩を入れたり、水分を摂ったりして、自身の体調にも留意しながらの活動となりました。

12日の午後には橋本武長・災救隊本部長と中畝宏之・災救隊本部主事が来訪し、現地の被害状況や災救隊の活動の状況を視察しました。また、15日から17日には道友社の取材もあり、災害救援の活動の様子が、26日にYoutubeで発信されました。その中で社協の篠

原氏から「自分たちの活動の他に、しっかり行った先の依頼者さんに寄り添って、声掛けなどをしながら活動している」といううれしいコメントもいただきました。

20日の午後には解隊式が行われ、社協から篠原氏とボランティアセンター長の重村友紀氏も来訪し、お礼の言葉を述べるとともに、まだまだ救援活動は続くとして、今後の協力をお願いされました。

◎福島教区隊出動人数◎

	出動隊員	出動件数	受入れひのきしん者
9月12日	16名	4件	11名
13日	18名	5件	12名
14日	17名	5件	11名
15日	14名	2件	7名
16日	20名	3件	11名
17日	18名	3件	9名
18日	24名 (耶麻支部隊5名を含む)	3件	9名
19日	21名	3件	12名
20日	20名	2件	5名

全教一斉にをいがけデー

たすけの旬 成人の旬 さあ！にをいがけ

「立教186年全教一斉にをいがけデー」が、9月28日～30日の3日間を「支部実動日」として実施された。

この3年間、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響から、地域によっては集団でのをいがけ活動を控えるなど、なかなか思うような支部活動ができなかったところが多かった。しかし年祭活動1年目の今年、まだ

まだ注意は必要だが、ようやく従前のような活動ができるようになってきた。

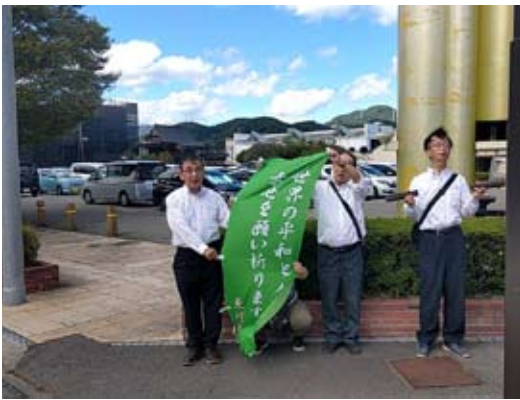
会津支部(杉澤元和支部長)では、29日、田島方面へ車で移動。従来、3日間のうち1日は会津若松市外の教会を拠点にをいがけ活動をしてきたが、コロナ禍のため4年ぶりの市外でのまとまったの活動となった。

今田島分教会を参拝した後、田島町内を戸別訪問やリーフレット配布をして回った。その後、会津田島駅前集合した参加者は、よろづよ八首を奉唱して、世界の平和と人々の幸せを願った。

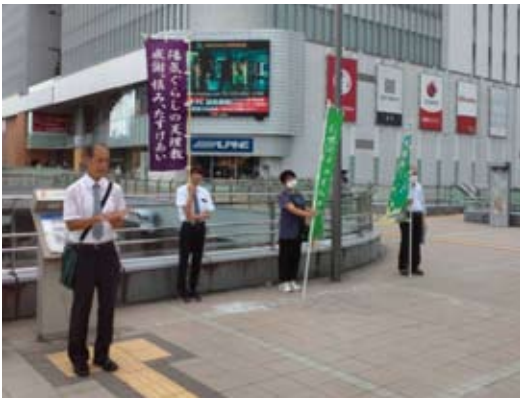
30日は若会分教会前でよろづよ八首を奉唱した後、それぞれに市内で戸別訪問やリーフレット配布などを行った。

いわき支部(梅井真治支部長)では、28日は磐城平大教会に集合。いわき市内を神名流しをして歩いた後、いわき駅前で路傍講演を行い、また道行く人々にリーフレットを配ったりした。

郡山支部(橋本義弘支部長)では、30日に郡山市内を神名流しをして歩いた後、郡山駅前での路傍講演を行った。5人の弁士が次々に、教えの一端をフリップを使ったりしながら、堂々と道行く人々に語りかけた。



会津支部



いわき支部



郡山支部

少年会

「少年ひのきしん隊本部練成会」に4名入隊

少年会福島教区団（近藤直光团长）は、7月28日から8月2日、「少年ひのきしん隊本部練成会」に4名（女子2名、カウンセラー2名）で入隊した。

4年ぶりに「こどもおぢばがえり」が開催されることとなり、「少年ひのきしん隊」も以前に近いプログラムで行われた。ただ、規模が縮小されたことと、コロナ感染症が完全に無くなったわけではなかった。福島教区は2次隊（7月29日～8月1日）に参加し、秋田教区と

合同班となり、行動を共にした。

期間中は「お茶接待ひのきしん」に励むと共に、「廻廊ひのきしん」や「リトルマガジンワールド」「バラエティー186」などの行事に参加したり、他教区との交流行事を楽しむなど、夏のおぢばを十分に堪能した。

参加者は「一番楽しかったのは『お茶接待ひのきしん』です。小さい頃から憧れていました。」「今、こどもおぢばがえりに参加している子に憧れを持ってもらえたらうれしい。」との言葉が聞かれた。

(N・K)



共に行動した秋田教区の隊員と



「廻廊ひのきしん」に行事参加



「ありがとう」の言葉がうれしかった「お茶接待ひのきしん」



ひのきしんの合間には「お楽しみ行事」にも参加。カウンセラーとの対決に盛り上がりました。

「移動例会」で親睦を深める

青年会

福島教区青年会（平澤信行委員長）では、7月3日、4日と「移動例会」を開催、6名が参加した。

今年4月に平澤委員長をはじめ、新体制となった教区青年会。教区青年祭活動1年目の年あたり、今後の教区青年会の活動について十分にねりあおうと、今回、1泊での「移動例会」が企画された。3日午前中は、教区支庁の敷地内の除草剤散布や室内清掃を行った。午後からは例会を開催し、会食等を挟みながら今後の活動について、お互いの考え、思いなどを忌憚なく出し合った。（N・H）

道の教職員の集い

「総会」「成人塾」「天理高校入試説明会」を開催

福島教区道の教職員の集い（齊藤元康代表世話人）では、

7月1日、今年度の「総会」を猪苗代分教会で開催、4名が参加した。

活動報告等の議事後は、コロナ禍で控えていた会食の場も設け、親睦を深め、12月の「教育フォーラム」の成功を誓った。

また7月23日には「成人塾」を猪苗代分教会で開催、同教会で運営している「子ども食堂」の利用者を中心に、小学生・中学生22人、スタッフ4人が参加した。

午前中は学習時間として、各自が持参した夏休みの宿題に取り組み、分からない箇所はスタッフに尋ねたり、参加者同士で教え

合ったりした。昼食を挟んで、午後は屋内外での遊びの時間や、パフェ作りを楽しんだ。

参加した子供たちからは、「勉強会は楽しかった。パフェ作りもまたやりたいたい」などと好評だった。

翌24日には福島教務支庁で「天理高校入試説明会」を開催、3組6名が参加し

た。おぢばは遠く、なかなか現地の入試説明会に参加できない管内中学生に向けて開催されたもので、小川美和・天理高校進路指導部長が来福し、映像などを用いて、学校紹介や入学案内について説明した。

（M・S）



少年会

「キャンプ練成会」を開催

少年会福島教区団（近藤直光 団長）では、8月18日、19日、国立磐梯青少年交流の家で「キャンプ練成会」を開催し、少年会員19名、育成会員16名が参加した。

会員に手伝ってもらいながら、火をおこしたり、野菜や肉を切ったり、炒めたりして、お互いに協力しながらおいしいカレーが出来上がった。食後はスイカ割りや花火を楽しんだ。

午後が集まった参加者は、入所オリエンテーションの後、炊飯棟へ移動、カレー作りに挑戦した。育成

翌日は、近くの「魚つかみどり池広場」へ移動。暑い日ざしが降り注ぐ中、子供たちは裸足で冷たい水中へ入り、池に放たれたニジマスを追いかけてまわり、素手で捕まえた。捕まえた魚はその場で焼いてもら

い、子供たちはおいしくいただいた。磐梯山の麓の緑あふれる環境の中、めったにできない体験をたくさんした子供たちは、楽しい思い出を胸いっぱいにして帰路についた。



(N・K)

学生会

「まなびば」を開催

福島教区学生担当委員会（国分一志委員長）では、8月18日、19日、国立磐梯青少年交流の家で高校生の集い「まなびば」を開催、学生4名、スタッフ5名が参加した。

18日は少年会の「キャンプ練成会」と合同でカレー

を作り、一緒においしくいただいた。翌日は『親神様の守護』をテーマに、『My Token Hexagon』というダイストークや、扇子などを使い身体を動かし協力し合ってお題に挑戦するグループワークなどで交流を深めた後、猪苗代ハーブ園の『アンブレラスカイ』を見学したり、イタリアンランチを楽しんだりした。

午後からは、自分の人生を振り返る『ライフラインα』を通してお互いの境遇などを語り合い、その後、杉澤元和先生（前福島教区学生担当委員長）の講話聞かせていただき、全体のふりかえりを行った。



(N・U)

災救隊

「教区訓練」に20名参加

災害救援ひのきしん隊福島教区隊（荒井弘徳隊長）では、8

31日は、二本松市宮あだたら高原野営場へ移動し、現地集合の人と合流して9時に結隊式を行った。連日猛暑の続く県内。31日は「熱中症警戒アラート」が発令され、休憩を通常より多くとりながらの作業となったが、作業は順調に進み、予定通りに終了した。（H・A）



布教部

「神名流し」を実施

福島教区布教部（生江一行部長）では、9月2日、福島教

り、各地で積極的なをいかけ活動が計画されている。教区布教部ではその先陣を切ろうと、教区役職者を中心に、教区月次祭祭典前に、街宣車を走らせ、よろづよ八首を声高らかに奉唱しながら教務支庁周辺を勇んで歩いた。

務支庁周辺で神名流しを行い、10名が参加した。

前、街宣車を走らせ、よろづよ八首を声高らかに奉唱しながら教務支庁周辺を勇んで歩いた。

唱が控えられていたが、今年からは従来どおり、「9月は

唱しながらかに奉唱しながら教務支庁周辺を勇んで歩いた。

にをいがけ強調の月」と位置づけられ、教祖年祭活動

いがけデー」が各支部で計画されており、勇みの種を蒔いていただいた。（M・S）

1年目の年ということもあ

蒔いていただいた。（M・S）



基礎講座

福島支部会場に28名参加

9月3日、「天理教基礎講座」(福島支部会場)が福島テルサ

で開催され、初めての方6名を含む28名が受講しました。

ビデオや平澤勇一講師の自らの体験を交えた講話を通して、天理教の教えが初めての方にも分かりやすく紹介されました。



参加者からは、「指が10本あるということは、十全の守護を忘れないため。というお話が心に残りまし

(K・K)

天理教基礎講座

(福島会場)

【日時】

11月5日(日) 13時30分

(年間予定から)

変更になっています)

【会場】

喜多方プラザ(喜多方市)

【講師】

杉澤元和先生

育成部

「女性がかがやく集い」を開催

福島教区育成部(生江一行部長)では、9月3日、「女性がかがやく集い」を開催し、6名が参加しました。3回目となる今回のテーマは、「日々をみつめなおす1日に」。

当日は、午前中、ボウリングとホットケーキランチを楽しんで、身体をリフレッシュ

レッシュした後、午後からは、「福島テルサ」で開催された「天理教基礎講座」を受講しました。その後、教務支庁へ戻り、平澤勇一

(8)



は「今、女性に求めること」をテーマに、『稿本天理教教祖伝逸話篇』から逸話を引用しながら女性の通り方について話され、教祖の教えを胸に日々通るよう求められた。続いて生江部長が、今は教祖140年祭へ向かう三年千日の年祭活動の期間であり、9月は「にをいかけ強調の月」でもあるとして、自分にできるにをいかけを日々心がけてほしいと話された。最後に、これをもとにねりあいが行われた。

(K・N)

教区総出ひのきしん

9月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、19名が参加した。いわき市で災救隊教区隊が出動中で、例年に比べ人数は少なかったが、建物周りの除草や屋内清掃などを行い、昼前には内外共にきれいになった。



を教会長夫妻、後継者に限
解していたらこうと、対象
に「みおしえ学習会」を理
会」を中央公民館で開催、
今回は、まず教会長さん方
「みおしえ学習
達分教会教人」がファシリ
ターマをつとめました。
で、シートの設定に答えた
り、隣同士で話し合ったり
しながら、十全の守護につ
いて理解を深めていった。
参加者からは、「内容も濃
く、楽しく過ごさせて頂き
ました。正解を導くのでは
なく各々が思ったことが学
習会の成果であり、他人の
思いが共感出来る、あるい
はそのような感じ方もある
のだということがわかりと
ても有意義でした。」「思っ
た以上に考えることができ
り、誰でも気楽に参加でき
るのかな」との声が聞かれ
た。
(Y・H)

郡山支部

「みおしえ学習会」開催

9月4日、郡
山支部（橋本義
弘支部長）では
「みおしえ学習
達分教会教人」がファシリ
ターマをつとめました。
で、シートの設定に答えた
り、隣同士で話し合ったり
しながら、十全の守護につ
いて理解を深めていった。
参加者からは、「内容も濃
く、楽しく過ごさせて頂き
ました。正解を導くのでは
なく各々が思ったことが学
習会の成果であり、他人の
思いが共感出来る、あるい
はそのような感じ方もある
のだということがわかりと
ても有意義でした。」「思っ
た以上に考えることができ
り、誰でも気楽に参加でき
るのかな」との声が聞かれ
た。
(Y・H)

きょういく講演会

【日時】 12月2日(土)
15:00 ~ 16:30

【場所】 福島テルサ
(福島市上町4-25)

【内容】 講演・質疑応答

【講師】 中村良二先生
(天理高校野球部監督)

【テーマ】 「3つのきょういく」

【参加費】 無料

婦人の集い

【日時】 11月3日(金・祝)
10:00 ~ 12:00

【場所】 福島教務支庁

【内容】 講演・ねりあい

【講師】 佐久間雄大先生
(天理教東越分教会長)

【テーマ】 「引きこもりの現状と
関わり方を考える」

【参加御供】 500円

【申込】 10月20日迄に各支部主任へ

10月29日は『ようぼく一斉活動日』

教祖140年祭へ向かう三年千日、同じ地域に住まうようぼくが互いに励まし合い、勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動に弾みをつけることを目的とする「ようぼく一斉活動日」。教区・支部運営のもと、全5回にわたり、全会場、同じ日程で開催される。その1回目が10月29日に予定されている。

各支部ではそれぞれの実状に合わせて会場ごとのプログラムを考え、現在は開催に向けて準備や参加呼びかけを行っている。

直属からチラシと参加カードがそれぞれのようぼくに届いていると思います。が、それぞれにお近くの会場を確認して、是非、ご参加いただけますようお願いいたします。

なお会場は「教区支部情報ネット」でも確認できます。ご利用ください。



- プログラム**
1. 開会挨拶
 2. おつとめ
 3. 諭達拝読
(諭達をご持参ください)
 4. 教会本部からの
ビデオメッセージ
 5. 会場ごとのプログラム
 6. 閉会挨拶

◎福島教区管内会場◎ (10月1日現在)

支部	会場	時間	会場ごとのプログラム内容
福島	福島分教会	9:30 ~ 11:30	おさづけの取次について
安達	安達分教会	10:00 ~ 11:30	ひのきしん
郡山	行理山分教会	10:00 ~ 12:00	DVD視聴
田村	三春分教会	10:00 ~ 11:30	講話
耶麻	猪苗代分教会	9:30 ~ 12:00	ひのきしん、茶話会
会津	若会分教会	10:30 ~ 13:00	おつとめまなび
いわき	菊多分教会	10:00 ~ 12:00	ひのきしん、茶話会
相双	福相分教会	10:00 ~ 11:30	茶話会
	原町分教会	10:00 ~ 11:30	茶話会

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!
[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)